

閉塞性大腸癌の治療における治療成績に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

大腸癌による狭窄、腸閉塞は、全大腸癌の3-16%に認めると報告されており、重篤な状態で発症することも多く、非閉塞性の大腸癌と比較して予後不良とされております。

当院は三次救急指定病院であり、年間約1,000件の手術を行う大規模な外科治療の実績があり、当院の治療成績を纏めることには意義があると考えています。本研究では、緊急手術前後での診療記録を収集し、治療成績に影響をあたえる因子について検討します。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2019年1月～2024年12月に当院で閉塞性大腸癌に対して緊急治療を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、発症から治療開始までの期間、手術の有無など

使用開始予定日：2025年10月31日

研究予定期間

2025年10月31日～2026年12月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 外科 大村亮太

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 外科 大村亮太

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)